

■優駿スプリント(SⅡ)アラカルト(過去5回の分析)

※平成23年に新設された南関東初の3歳馬限定のスプリント戦。

※1着馬には地方競馬スーパースプリントシリーズ(略称SSS)ファイナルとして、習志野きらっとスプリントへの優先出走権が付与される。

※上位2頭にアフター5スター賞の優先出走権が付与される。

※第5回(平成27年)よりグレードをSⅢからSⅡに格上げ。

※記録は6月10日時点のもの。

■距離1200m戦の勝ち星ありが望ましい

※3着内馬15頭中11頭が1200m戦で勝利経験あり。

■勝ち馬は、すべてTCKコース経験あり

※勝ち馬5頭すべてにTCKコースで勝利経験があった。

※3着内馬15頭中10頭にTCKコースで勝利経験があった。

■重賞への出走経験が理想

※3着内馬15頭中12頭に重賞レースの出走経験があった。

■連対率は50%あたりが基準

※3着内馬15頭中9頭が連対率50%以上。

■ホッカイドウ競馬出身馬の動向

※15頭が出走し、2勝、3着3回と活躍。

■牝馬が3勝

※34頭が出走し、3勝、2着3回と好成績。

■TCK所属馬が3勝

◇TCK所属馬 3勝、2着3回、3着2回

◇船橋所属馬 1勝、2着0回、3着2回

◇川崎所属馬 1勝、2着2回、3着1回

◇浦和所属馬 0勝、2着0回、3着0回

■ 3着内馬 15頭中 13頭が前2走どちらかで連対を確保

※例外は第2回優勝のゴールドキャヴィアと第5回3着のコンドルダンス。

■ 1・2番人気馬が4勝

◇1番人気馬 2勝、2着0回、3着0回

◇2番人気馬 2勝、2着2回、3着0回

◇3番人気馬 0勝、2着1回、3着2回

※1番人気馬は第1回11着、第2回14着、第3回8着と惨敗していたが、一昨年、昨年と勝利。

■ 馬体重の増減の傾向

※成長期にある3歳馬だが、当日の馬体重は±4キロ以内の馬たちが3着内馬 15頭中 12頭を占めている。

参考データ

■ TCKの1200m戦重賞の傾向

優駿スプリントの過去5回、東京スプリントの過去10回、アフター5スター賞の過去10回、東京盃の過去10回の合計35レースを参考にした。

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	3	4	4	0	5	5	2	2	1	1	0	1	2	2	2	1
2着	4	2	1	3	2	2	2	4	0	3	3	4	1	1	2	1
3着	1	2	2	5	0	1	2	2	3	4	4	3	2	1	3	0

※⑤番、⑥番が5勝、②番、③番が4勝、①番が3勝。

※スタートして3コーナーまで500m以上あり枠の内外の影響はなさそうだが、内枠有利の結果がでている。